

埼玉医科大学病院ニュース

CONTENTS

- ① てんかんセンターのご紹介
：てんかんセンター センター長 小児科 教授 山内秀雄
- ② がんリハビリテーションのご紹介：看護部
- ③ 検査一口メモ：中央検査部
- ④ 検査一口メモ：中央放射線部
- ⑤ 知ってますか？ 医薬品副作用救済制度：薬剤部
- ⑦ みかんの効能・おいしい食べ方：栄養部



—基本理念—

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

- 1.すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
- 2.安心で質の高い医療を実践します。
- 3.まわりの医療機関と協力し合います。
- 4.高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
- 5.より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

- 1.ひとりひとりが大切にされる権利
- 2.安心で質の高い医療を受ける権利
- 3.ご自分の希望を述べる権利
- 4.納得できるまで説明を聞く権利
- 5.医療内容をご自分で決める権利
- 6.プライバシーが守られる権利



東館2階てんかんセンター外来スタッフ

平成29年4月に埼玉医科大学病院てんかんセンターが開設されて、東館2階にてんかんセンター外来がオープンしました。小児担当の山内秀雄医師に加え、7月から成人担当の渡邊さつき医師が診療を開始しました。

てんかんかどうかはつきりしないという方も、現在てんかんの治療を受けている方も、お困りの方はてんかんセンターをご予約下さい。

てんかんセンター外来
☎049(276)1697
火・金 午後3時～5時

※受診していいかわからない場合も、まずは電話でご相談下さい。

※ホームページ・Twitter・Facebookもご覧下さい。

こんなことで悩んでいますか？

★倒れて救急車で運ばれたら、てんかんと言われたけど、本当にてんかん？

てんかん以外でも、倒れたりけいれんしたりする病気があります。

てんかんと診断するには、詳しい症状確認と脳波検査が必須です。

てんかんの場合でも、脳波検査の結果によつて飲む薬の種類が変わります。もつと詳しく調べるために「長時間ビデオ脳波記録」という、入院して実際の発作を記録する検査もあります。当院小児科病棟で検査できます。成人用は現在準備中です。



★けいれん以外の症状もてんかん？

呼びかけに反応せずボーっとする、頭がカクンと下がることを繰り返す、眼をパチパチさせる、手足が短時間だけ痺れるなど、けいれん以外にも様々なてんかん発作があります。撮影した動画があると診断の助けになります。

★薬を飲むと眠くなって困ります

副作用が少ない薬を選ぶことは大切です。違う薬に変更できないか、考えてみる必要があります。

★小さいときから薬を飲んでいて、二生飲まないといけない？

てんかんには色々な種類があります。種類によっては、薬をやめられる場合もあります。これまでの経過を知り、脳波やMRIなどの検査をして、よく考えてみる必要があります。

★発作が全然なくならないけど、もうあきらめるべき？

あきらめるのはまだ早いかもしれません。私達は発作ゼロを目指して治療をしています。

★新しい抗てんかん薬があります

昨年は、5月に「フィコンパ」、7月に「ピムパット」が発売されました。

★手術で良くなることもあります

手術が出来るかどうかの相談も受けています。



★車の運転は一生できないの？

発作ゼロになれば、運転できます。治療方法を一緒に考えましょう。

★受診や薬にお金がかかると…

診察・検査・薬などの支払いが安く済む制度があります。他にも、発作の程度や合併する症状によって、利用できる支援制度があります。

★てんかんがあると妊娠してはダメなの？

てんかんがあつても妊娠・出産できます。でも、ちゃんと準備が必要です。発作を出来るだけ減らす、赤ちゃんに影響の少ない薬(出来ればデパケン以外の薬)に変更する、など色々あります。若いうちから将来に備えましょう。ご希望があれば女性医師が担当しますので、安心してご相談下さい。



★気分の落ちこみや不眠があります

てんかんのある患者さんに、うつ・不安・幻覚妄想などの精神症状を合併することがあります。薬の副作用の場合もあります。当院には、てんかんと精神科の両方を専門にする医師が複数いますのでご相談ください。



ご相談下さい

大学病院では、様々な研修に参加し資格を取得して、患者さんのケアに携わっている看護師が活躍しています。今回は、その中の一つ、がんリハビリテーションについてご紹介します。

患者さんやそのご家族の方が、治療後、退院がスムーズにできるよう、リハビリを通して関わっています。

日本でのがん罹患者は、2015年には年間89万人と高齢化により年々増加しています。また、がん患者さんの生存期間が長期化し530万人を越える現在、「がんと共存する時代」の医療のあり方が求められています。患者さんにとってがんに対する不安は大きく、がんの直接的影響や治療に伴う副作用に対する不安も同じように大きくあります。

『がん』と一言で言っても、がんによる障害は様々です。がんそのものによる機能障害として骨にがんが転移する事によって生じる骨折や神経障害、脊椎腫瘍に伴う麻痺があります。その他にも、治療の過程においてもたまたまされる障害として、全身の機能低下や化学療法・放射線療法による末梢神経障害、嚥下障害などがあります。

がん療養におけるリハビリテーションは、回復力を高め、残っている能力の維持・向上を目的とする医療ケアです。患者さんは、がんとその治療により体

力の低下や筋力の低下、体のだるさなどを自覚します。そのため、近年、それらに対する障害の軽減、日常生活における動作の改善、あるいは生活の質の向上を目的とした、リハビリテーションの必要性が高まってきました。私たちは一定の研修を受け、患者さんがその人らしい生活を最大限に実現できるように、多職種と連携して携わる役割を担っています。主治医、リハビリテーション科医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、理学療法士、作業療法士がチームとしてケアを行っていきます。そして、医師の指示のもと、患者さんの病期や状態によって介入の目標を立てりリハビリテーションの内容を検討し介入しています。



実際に私たちがどのように関わっているのか、ご紹介します。病棟では白血病や悪性リンパ腫などの患者さんが入院され、多くの方が化学療法や放射線療法を行っています。長期臥床に伴い、筋力低下や歩行障害などの日常生活動作の低下を認める患者さんは少なくありません。患者さんの状態に合わせて医師と相談し、がんリハビリテーションを介入する事により、がん患者さんの生活の質の向上を目指しています。患者さんの病状・状態は常に変化するため、身体的・心理的状态を把握し週に1回、血液内科医師、リハビリテーション科医師、看護師、作業療法士、理学療法士、薬剤師を交え、がんリハビリテーションカンファレンスを行っています。ここでは、患者さんの筋力低下や歩行障害の改善、日常生活動作の維持を目標にした計画を立てた上で、現在の病状や心理的状态の話し合いを行います。例えば、トイレ動作が困難であるならば、家族指導を計画したり、退院間近な患者さんには家屋の状況を把握するよう努め、それに合わせたリハビリテーションを提案・計画し、患者さんに伝え取り入れたいします。

患者さんにとって安全で安心して生活が送れるよう、最善のがんリハビリテーションを提供し、各職種と連絡・調整を図り円滑な退院に向けたお手伝いをさせていただきます。

看護師募集中!!

最も環境の整った大学病院で、

地域に密着した高度な医療に貢献しませんか。

※病院見学、インターンシップ、いつでも大歓迎!! Facebookも更新しています!
詳しくはQRコードより

看護師求人ホームページ <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/nurse>

看護部 Facebook ページ <https://www.facebook.com/smu.nurse>

埼玉医科大学 総務部 人事課 ☎ 0120-61-1181 TEL: 携帯の方 049-276-1115



検査一口メモ 生理機能検査受付の移動のお知らせ

中央検査部

患者さんの動線の改善を目的に、中央棟1階の生理機能検査受付を6月20日より移動させていただきました。
変更前は奥まった場所に位置していましたが、今回以前より約10m程手前に移動し、通路から見えやすく近い位置にしました。

*生理機能検査の項目

- ・心電図
- ・ホルター心電図
- ・ABI/PWV検査
- ・超音波
- （心臓・血管・腹部・甲状腺等）
- ・呼吸機能検査
- ・睡眠時無呼吸簡易検査
- ・ホルター血圧
- ・脳波
- ・筋電図
- ・サーモグラフィ検査

留意点

レントゲン、CT、MRI検査の受付ではありません。

*受付の流れ

受付開始は8時30分からとなっています。外来患者さんは、診察券をご用意下さい。基本的に診察券にて受付を行います。
診察券はすぐにお返しします。その後、受付票をお渡ししますので各検査室の近くでお待ちください。お名前を呼ばれましたら、検査室の中に入り、検査担当者に受付票をお渡

して下さい。

入院患者さんはネームバンドにて受付させていただきます。

留意点

検査は予約時間を優先して行っています。受付順ではありません。

急患対応や検査内容によっては順番が前後することがありますのでご了承下さい。

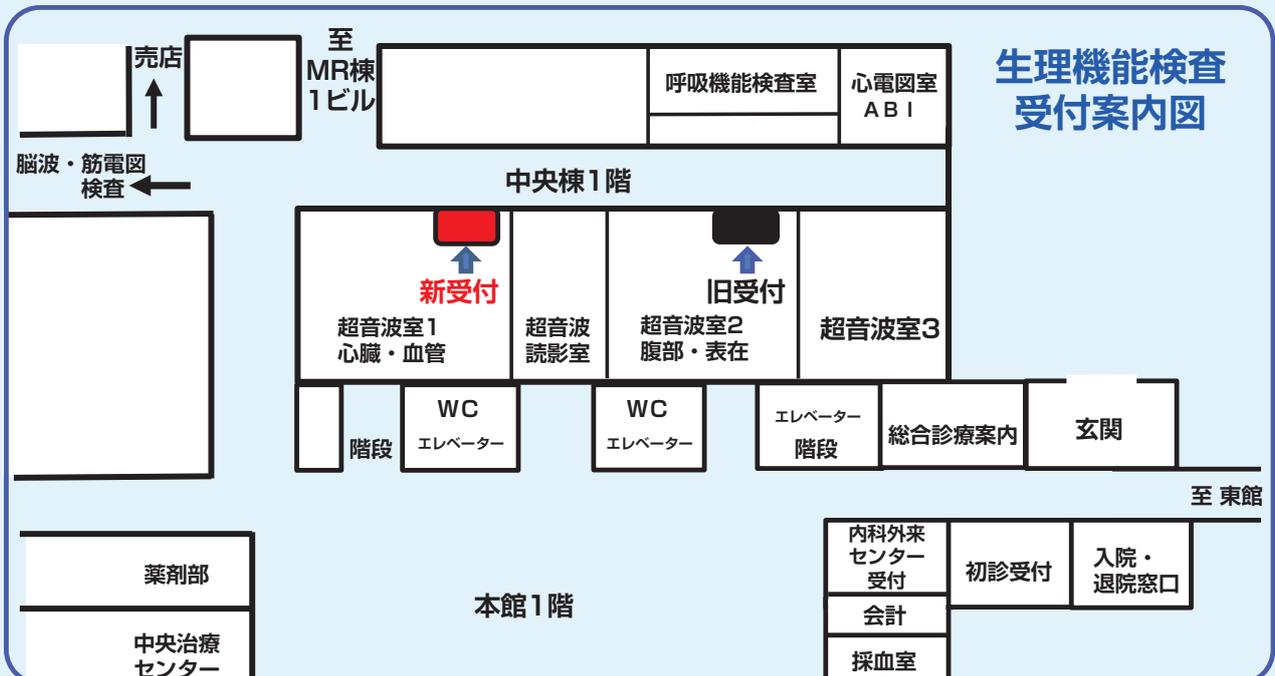
院内にある再来受付機で受付されても検査の受付が済んだわけではありません。「受付の流れ」に沿って手続きを宜しくお願いします。



受付窓口



中央棟1階廊下



この度、本館X線撮影室と東館X線撮影室にコーニカミノルタ社製フラットパネルディテクタ『Aero DR』が設置されました。(図1)フラットパネルディテクタ(以下FPD)とはX線画像を得る機器の一つです。FPDは①高画質で被ばくが少ない②撮影した画像を待たずに確認できるので撮影時間や待ち時間を短縮できる③ワイヤレスタイプで持ち運びが可能④画像のパラメータを変えることができる。などの特徴があります。

今回は④のパラメータを変えた画像についてご紹介します。これは1回の撮影で、2種類の画像を得ることが出来ます。1つは、X線が体を透過した後のエネルギーの減弱を可視化した通常のX線画像(以下通常画像)。2つ目はX線を吸収する物体を見えやすく強調した画像(以下強調画像)です。X線は金属や骨(カルシウム)など元素の重いものがより吸収される性質があり、強調画像の利点として胆石や腎結石、喉に刺さった魚の骨、子供が誤飲したボタン等を見る事が出来ます。また、救急や病棟において、患者さんにチューブやカテーテルを挿入した際に先端部分の位置の確認にも使用できます。

それでは実際の画像を見て下さい。まず、胸部の通常画像(図2)と強調画像(図3)です。胃に栄養を送るチューブを確認する目的の画像ですが、通常画像ではチューブが心臓や骨と重なりよく見えません。しかし、強調画像ではチューブの先端が食道を通り胃の中まで入っている事が確認できます(赤い丸で囲んだ部分)。このチューブの先端が胃まで到達せず食道で止まっていると誤嚥の恐れがあり危険です。胃に限らず血管へのカテーテルを挿入した場合でも必ず撮影を行い、先端位置の確認をしています。

次に、魚の骨(図4)とお薬のPTPシート(図5)を誤飲した時の頸部の画像です。通常画像(図6)ではうっすらと魚の骨が見える程度で、PTPシートまでは確認できません。強調画像(図7)を見ると赤い丸の中に魚の骨とPTPシートの両方を確認できます。拡大したのが(図8)、(図9)になります。しっかりと見えるかと思えます。この様にレントゲン撮影技術も日々進化しており患者さんには、より被ばくを少なく尚且つ有用性の高い画像が得られるようになりました。



図1-Aero DR



図2-通常画像

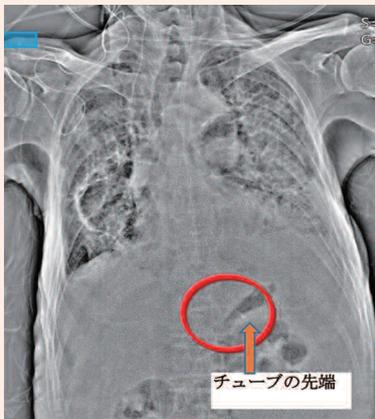


図3-強調画像



図4-魚の骨



図6-通常画像

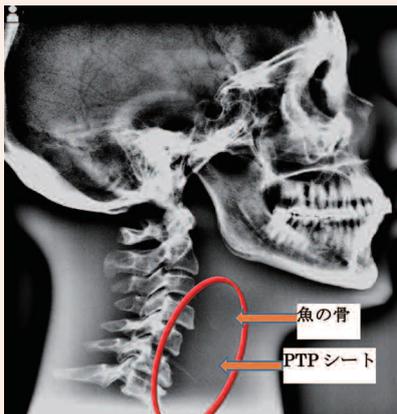


図7-強調画像



図8-魚の骨



図9-お薬のPTPシート



図5-お薬のPTPシート

【医薬品副作用救済制度とは？】

医薬品は正しく使っていない場合、副作用の発生を防げない場合があります。そこで、医薬品（病院・診療所で処方されたもの、他、薬局等で購入したものも含みます）を適正に使用したにもかかわらず、その副作用により入院治療が必要になるほど重篤な健康被害が生じた場合に、被害を受けた方の迅速な救済を図るため、PMDAが管理する公的制度が、「医薬品副作用救済制度」です。

暮らしに欠かせないお薬だから、いざというときのために、ぜひ知っておいて下さい。

【医薬品医療機器総合機構 (PMDA)とは？】

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA・Pharmaceuticals and Medical Devices Agency) とは、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター、医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構及び財団法人医療機器センターの一部の業務を統合し、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて平成16年4月1日に設立した公的機構です。

PMDAは、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健



康被害に対して、迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としています。

【医薬品副作用被害救済制度の仕組み】

1 救済制度給付の種類

救済給付には医療費・医療手

当・障害年金・障害児養育年金・遺族年金・遺族一時金・葬祭料の7種類があります。

給付額は種類ごとに定められております。なお、それぞれについて請求期間がございますので、ご注意ください。

救済制度の活用には患者さんが請求する給付の種類を確認することが必要です。医薬品の副作用による健康被害を受けた方を救済するためには、発現した症状及び経過と原因とみられる医薬品との因果関係等の確認が必要です。診断書や投薬・使用証明書などの作成が必要になりますのでかかりつけの医療機関などへご相談ください。

2 救済制度給付の対象は？

昭和55年5月1日以降（再生医療等製品については平成26年11月25日以降）に医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病（入院治療を必要とする程度のもの）、障害（日常生活が著しく制限される程度の状態のもの）及び死亡が給付の対象となる健康被害です。

なお、「医薬品」とは製造販売の承認・許可を受けた医薬品

であり、病

院・診療所で処方された医療用医薬品、薬局・ドラッグストアで購入した要指導医薬品、一般用医薬品のいずれも含まれます。ただし、別途対象除外医薬品が定められています。

また、「適正な使用」とは医薬品の容器あるいは添付文書に記載されている効能効果、用法用量、使用上の注意にしたがって、使用されることが基本となりますが、個別の事例については、現在の医学・薬学の科学水準に照らし合わせて総合的な見地から判断されます。



3 救済制度給付の対象とならない場合

1. 法定予防接種を受けたことによるものである場合（別の公的救済制度があります）。任意に予防接種を受けたことによる健康被害は当該制度の対象となりません。

2. 医薬品・再生医療等製品の製造販売業者等の損害賠償責任が明らかでない場合。

3. 救命のためにやむを得ず通

常の使用量を超えて医薬品等を使用したことによる健康被害で、その発生があらかじめ認識されていた等の場合。

4. 対象除外医薬品（抗がん剤・特殊疾病薬など）による健康被害の場合。

5. 医薬品等の副作用のうち健康被害が入院治療を要する程度ではない場合や日常生活が著しく制限される程度の障害ではない場合、請求期限が経過した場合、医薬品等の使用目的・方法が適正であったとは認められない場合。

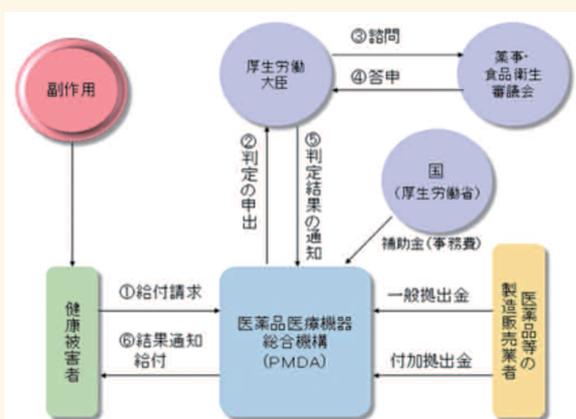
【医薬品副作用被害救済給付の手続きの流れ】

1 給付の請求

健康被害を受けた本人（または遺族）等が、請求書、その他請求に必要な書類（診断書等）をPMDAに送付することにより、医療費等の給付の請求を行います。給付の種類に応じて、請求の期限や請求に必要な書類等が定められています。

2 医学・薬学的な判定

PMDAは、給付の請求があった健康被害について、その健康被害が医薬品等の副作用に



よるものかどうか、医薬品等が適正に使用されたかどうか等の医学・薬学的な判定の申し出を厚生労働大臣に行い、厚生労働大臣はPMDAからの判定の申し出に応じ、薬事・食品衛生審議会（副作用・感染等被害判定部会）に意見を聴いて判定することとされています。

迅速な救済を図るため、厚生労働大臣への判定の申し出にあたって、PMDAは、請求内容の事実関係の調査・整理（請求内容の事実関係調査、症例経過概要表の作成、調査報告書の作

3 給付の決定

成等）を行っています。

PMDAは、厚生労働大臣による医学・薬学的判定に基づいて給付の支給の可否を決定します。なお、この決定に対して不服がある請求者は、厚生労働大臣に対して審査を申し立てることができます。

※平成28年4月1日より審査の申し立ての期間が、支給の決定があった日の翌日から3か月以内となりました。（従来の2か月以内から延長）

4 拠出金

医療費等の給付に必要な費用は、許可医薬品製造販売業者等からの拠出金で賄われています。なお、医薬品副作用被害救済制度に係るPMDAの事務費の1/2相当額については、国からの補助金により賄っています。

詳細については、PMDAホームページ「医薬品副作用被害救済制度」をご覧ください。

ボランティアさん募集

病院ボランティアを募集しています！

資格や経験のない方でも健康で思いやりのある方であればどなたでも参加できます。

具体的な活動

- ・ 玄関やホールでの案内、誘導
- ・ 車椅子利用者の乗降時の援助
- ・ 各科の外来や検査室への案内
- ・ 自動再来受付機操作のお手伝いなど

活動の時期、時間、頻度

原則として、
月曜日から土曜日（祝日を除く）
午前8時30分から午後12時30分
ごろまで
1回2時間以上活動が可能である事
（月1回でも可能）

お問い合わせ

埼玉医科大学病院 医務部

☎049 (276) 1126

栄養部

食べ過ぎて、
手が黄色くなったことはありませんか？
みかんは、1日2個が
目安です。



果物には、その季節に合った効能を持つものが多く、冬に旬を迎える果物は免疫や感染症を予防するビタミンCやビタミンA（βカロテン）を含みます。

10月から1月に旬を迎える温州みかんは、ビタミンCやβカロテン、クリプトキサンチン、ヘスペリジン（フラボノイド・ビタミンCを助けます。）などのビタミンを多く含み、風邪の予防や他感染症の予防にも役立ちます。

温州みかんは、皮にも効能や栄養があります。

新聞紙に乗せて1週間程度乾燥したものを、お茶のように飲んだり、乾燥して使うことも多いようですが、今回はそのままジャムにして食べるレシピを紹介します。

みかんのマーマレード

《作り方》

《材料》

みかんの皮 適量
皮の半量程度の砂糖
皮の半量の水

① みかんは中身を食べ、皮はよく水で洗う。

※ かんきつ類に使われる害虫防除薬剤は、水溶性なので水でよく洗って落とします。心配な方は無農薬を選びましょう。

《栄養価》

大さじ1杯（10g）
エネルギー：約25kcal
炭水化物：約6g

② 白い部分をスプーンで削る。

※ 好みに省いても大丈夫です。

③ 千切りにして、水と砂糖を加え、煮詰めます。



国民健康・栄養調査の結果より、10代から50代は果物を食べる習慣がない方が多く、果物離れがすすんでいるといわれています。

1日の果物の推奨量は200gですが、20代から50代では100gに届いていません。

みかんの適量は1日2個です。食べ過ぎると、βカロテン等の色素が手や足に蓄積することがあります。それ自体は大きな問題はありませんが、果物には果糖やブドウ糖が多く含まれ、みかんも例外ではありません。

中性脂肪や血糖の高い方はとり方に注意が必要です。

また、果物に含まれるカリウムに制限のある方は、果物の摂取は控えたほうが良いでしょう。

食べ過ぎには注意が必要ですが、菓子類などに比べると、比較的口リリーが低く、ビタミンや食物繊維なども多く含まれます。

おやつや甘いものが欲しいときに取り入れてみてはいかがでしょうか？

適度に食べる事で、体調の管理に役立つかもしれません。

※栄養相談をご希望の方は、主治医にご相談下さい。個別相談を承ります。